



♪ふれあいコラム

[パンクナンバー]

今、話題の人物をクローズアップ！

2013年11月号 ホルン、ヴァイオリン、ピアノが奏でるハーモニーを楽しんで

東京交響楽団 首席ホルン奏者 ジョナサン・ハミルさん

東京交響楽団 首席ヴァイオリン奏者 服部 亜矢子さん

東京交響楽団のジョナサン・ハミルさん（ホルン）と服部亜矢子さん（ヴァイオリン）に、海外生活のお話や、12月8日高輪区民センターで開催される『ホルン・ヴァイオリン・ピアノで奏でるクリスマス・コンサート』について伺いました。

—— お二人とも海外生活が長いですね。

[服部（以下、服）] 親の仕事でブラジルに6年、ヨーロッパに11年。父の帰国後も一人で残って、オーケストラに職を得て、合計17年間海外でした。東京交響楽団の前にいたオケはオランダとベルギーとドイツの国境にあり、三カ国語が飛び交っていましたね。結婚で帰国し、今は音楽も子育ても充実しています。

[ハミル（以下、ハ）] 僕もずっと海外だね、フロリダ出身だから（笑）。ニューヨークでは、大学にいろいろな国の人のがいたので、違う国に住んでみたいと思ったんだ。それで各国の国際音楽祭に参加して、日本に決めた。

日本の好きなところは、上手く説明できないけれど、雰囲気や日本人のキャラクターかな。アメリカ人なら怒る場面も冷静だったり、震災の時、みんな落ち着いて行動していたり。そんな違いが好きなんだ。

[服] 外国人は個性がはっきりしているけれど、日本人は周囲と歩調をあわせたり、空気を読むのが上手。どちらも良し悪しはあるけれど、海外で育つと違いがよくわかりますね。

[ハ] 僕もアメリカに帰るとよくわかる。
日本人ぽくなってるから（笑）。

—— お二人は、映画『のだめカンタービレ』に出演されていますね。

[ハ] 僕はオーディションの誘いを受けて、ヨーロッパのオケのホルン奏者役で出演した。吹き替えだからわからないと思うけれど、撮影時、外国人は皆が母国語で台詞を話しているんだ。コンサートマスターはドイツ語、僕の他に3人が英語で、チェロやオーボエ奏者はフランス語、ファゴット奏者はイタリア語。互いに何て言ってるかわからないから、次の台詞のタイミングがつかめない。大変だったね（笑）。

[服] 東京交響楽団が音楽協力した映画だったので、私も竹中直人さんが指揮するシーンで演奏しています。

—— 12月のクリスマス・コンサートは、ホルン、ヴァイオリン、ピアノという珍しいトリオ編成ですね。

[ハ] このプログラムは面白いよ。ブラームスの『ホルン三重奏曲』は亡くなった母のために作曲された、苦しくも美しいメロディの深い曲。ホルンの名曲だけど、ヴァイオリンもピアノも難しい。とくにピアノは上手なピアニストじゃないと。“のだめ”じゃないけど、野田清隆氏だから決めました。貴重な演奏の機会だね。

[服] この曲は私の先生がよく演奏していて、いずれ弾いてみたい憧れの曲でした。演目全体も、バラエティがあって盛りだくさんですね。

[服&ハ] 冬にふさわしい、温かい雰囲気のコンサートです。ぜひ聴きにいらしてください。

ハミルさんは、海外のオーケストラの友人が来日すると六本木に行くことが多いそうです。六本



■プロフィール

ジョナサン・ハミル

アメリカ合衆国フロリダ州生まれ。ニューヨークのジュリアード音楽院卒業。国内外の多数の音楽祭やツアーワーに参加。2001年から東京交響楽団所属。

服部 亜矢子

新潟県生まれ。桐朋音楽大学を経て、マーストリヒト音楽院卒業。リンブルフ交響楽団などを経て、2006年から東京交響楽団所属。

木ではペルリン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者サイモン・ラトルさんと会って、コンサートに招待されたこともあったとか。

[▲このページのトップへ](#)

| [サイトマップ](#) | [みんなの声](#) | [Kissポート財団について](#) | [情報誌「Kissポート」について](#) | [品質・環境への取り組み](#) | [個人情報保護について\[PDF\]](#) |

Kissポート財団

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コムニティーハウス

電話 : 03-5770-6837/Fax : 03-5770-6884 お問い合わせ : fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。